

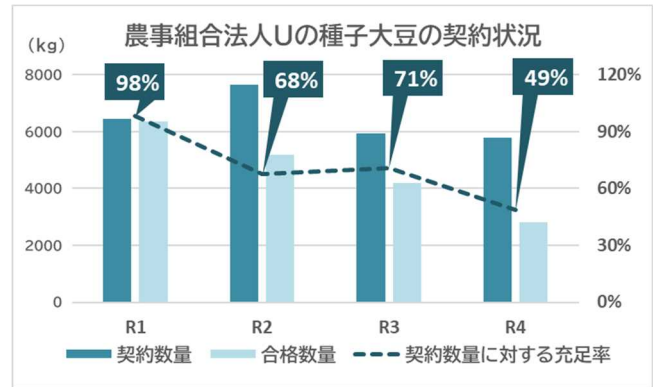
種子大豆「フクユタカ」の収量向上を目指して

対象者 甲賀市水口町 農事組合法人U

【普及活動のねらい】

農事組合法人Uでは、種子用大豆「フクユタカ」の栽培に取り組まれています。しかし、たびたび播種期に降雨に見舞われ、播種作業の遅れや湿害により、初期生育が十分確保できていませんでした。また、その後の管理も雑草の発生状況や大豆の生育状況に応じた作業が適期に実施されておらず、低収量となっていました。

そこで今年度は種子大豆の安定した生産に向けて、排水対策技術の向上と適期作業の実践について支援を行いました。



【普及活動の内容】

初期生育の確保に向けた排水対策と適期播種実施に向けた支援

大豆の播種前に生産者とはほ場を巡回して滞水状況を確認し、既存の明渠の修繕や新たな明渠の施工を行いました。また、適期播種に向けて、播種計画の作成や、降雨による播種遅れの対策として種子量増量の提案を行いました。

生育状況に合わせた雑草対策、病虫害防除の実践に向けた支援

大豆の雑草対策について、雑草の種類や発生状況に合わせて防除されるよう、ほ場の発生状況を生産者と確認し、除草剤に関する情報提供を行いました。

病虫害の防除については、ザルビオによる情報を活用しながら、生産者とはほ場を巡回し、防除の回数や使用する農薬について検討を行いました。



生産者との現地確認

【普及活動の成果】

6月下旬からの長雨により播種適期には至らなかったものの、播種量の増量や排水対策を徹底したことで、梅雨明け後速やかに播種に取り掛かることができ、初期生育が確保できました。また、こまめなほ場巡回と、雑草の発生状況や大豆の生育状況にあわせた適期作業を実施されました。

以上の活動の結果、十分な生育量が確保され、病虫害の被害もなく、収量は10aあたり124kgとなり、過去3年間の平均単収104kgに比べ、大きく増収し契約収量を確保できました。

引き続き、排水対策や適期作業の実践が定着するよう支援を行っていきます。

◎対象者の意見

昨年は雑草の抜き取りがとても大変だったため、中耕除草や除草剤でしっかり防除できてよかった。(農事組合法人U 組合長)